

# 大事協だより

大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第58号  
2017年10月20日発行

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。  
2学期も残すところ半分です。年末調整等がんばって  
いきましょう。



さて、今回は①大和村②伊仙町③龍郷町④奄美市笠利  
ブロックから原稿の方を寄せていただきましたので紹介  
いたします。

## ① 大和村事務職員会

大和村立大棚小学校 平田 りえ

みなさん、こんにちは。大和村事務職員会です。

大和村は現在、小学校5校（うち1校は休校中）、中学  
校が1校あり、3名の事務職員が配置されています。支  
援室は毎月2回大棚小学校のパソコン室で行っています。  
主な活動内容は諸手当認定事務、広報誌発行、事例研修  
などです。今年度から旅費の点検を行っており、より正  
確な事務処理ができるように心がけています。また、経  
験年数がばらばらであるため、支援室の最後に質疑応答  
の時間を設け、全員で意見を交わして日々の業務をこな  
す際に感じる疑問や不安を少しでも解消できるようにし  
ています。

大和村は小規模校ばかりのため、職員数、児童生徒数  
が少なく学校運営や行事の際に職員の負担が大きいです。  
そこで大和村事務職員会では、職員の負担を軽減できる  
ように給食費・PTA 会費徴収事務、就学援助費、備品台  
帳整理、教科書事務など、自分にできることから取り組  
んでいます。これからも職員の意見や要望を聞きながら、  
事務職員として少しでも学校運営に協力していきたいと  
考えています。

さて、大和村といえば、教職員ゆるキャラに「すもも  
ちゃん」がいるように「すもも」が特産品です。このす  
ももを使った加工品が大棚にあります「大和まほろば館」  
で販売されています。一番のおすすめは「すももソフト  
クリーム」です。甘酸っぱくてとてもおいしく、大棚小  
の職員からも好評です。おすすめの休憩スポットですの  
で大和村へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください♪



大和村教職員ゆるキャラ  
すももちゃん♡



## ② 伊仙町事務職員会

伊仙町立伊仙小学校 藤崎 あかり

こんにちは、伊仙町事務職員会です。

本町の事務職員会は、小学校6名・中学校3名の  
計9名で構成されています。今年度は、新規採用の  
1名を新しく迎えてスタートしました。昨年度まで  
は支援室・支援準備室と2つに分かれて支援室業務  
を行っていましたが、今年度より町教育委員会担当  
者との連携を図りながら、1つのグループでの支援  
室業務を行う班編成になりました。伊仙町学校事務  
支援室の現状として、新規採用職員である若年層の  
事務職員が多い、つまり、経験年数が少ない職員が  
多いことがあげられます。そのため支援室において  
は、学校間で差が出ない事務処理体制の支援に努め  
ています。主な活動内容として、新規採用職員支援、  
諸手当認定事務、旅費・日額特勤相互点検、広報誌  
の作成、備品の共同入札、事務職員未配置校への町  
費事務支援等があります。今年度は一つの支援室と  
なり、係分担を決め、例月旅費・給与は3つのグル  
ープに分かれて毎月点検を行っています。また、手  
当・旅費請求関係において特殊事例が多く発生して  
おり、支援室内での協議を重ね、共通理解を図りな  
がら疑義の生じる件につきましては教育事務所とも  
連携を図りながら認定等事務作業を慎重に進めてい  
ます。若年層が多いため、今年度より事務職員の資  
質向上を図るため管外研修の実施も計画されていま  
す。

一つの支援室となり、新たな取り組みに向かって  
進めていけるよう、支援室一同頑張っていきたいと  
思っています。



今後とも伊仙町事務職員会をよろしくお願いま  
す。

## 本年度新規採用者の声



### 伊仙町立面縄小学校 下園 崇

この度、新規採用職員として面縄小学校に赴任いたしました下園崇と申します。

はやいもので、私が徳之島に赴任してから半年が経とうとしています。思い返せば始めの4～5月は仕事や環境に振り回され、仕事を覚えるどころか生活のリズムも崩れがちでした。初めての離島ということもあり、地元と離島での生活のギャップや、前職との仕事の違いに慣れず、自信を無くし不安な日々を送っていました。仕事やプライベートなどで、伊仙町支援室の先輩及び新採担当の方々や島内の事務職員の方々、大島教育事務所の方々のサポートもあり、今現在はすこし落ち着いて自分自身の身の回りを見渡すことができる余裕がでてきたように感じます。今現在の課題としては、初年度に自分が困ったこと、特に理解しにくく苦労したことを忘れずにまとめておくという事です。来年度、自分自身の仕事をスムーズに行いたいということはもちろんのねらいとして、もう一つのねらいは来年度島内に来られる新規採用の方や、いずれ私と入れ替わりでこられる事務職員の方が赴任してきた際の負担を少しでも減らしたいということです。毎日の仕事をこなし、新しい業務を覚えている時でも、仕事や普段の生活のこと、些細なことでも書き留めてまとめることで、自分自身の反省を日々行い、初任の一年をより有意義にすごしていきたいと思えます。

また仕事以外では服が趣味の一つで、最近では毎晩お風呂上りにお気に入りのレザージャケットを着ながら部屋でゆっくり過ごすことが日課となっています。早く外で着たいとは思ってはいるのですが、離島の秋はまだちょっと遠いようです。

体調を崩さぬよう、日々頑張っていこうと思っております。今後とも皆様、よろしくお願いいたします。



### ③ 龍郷町事務職員会 龍郷町立円小学校 福山 修一

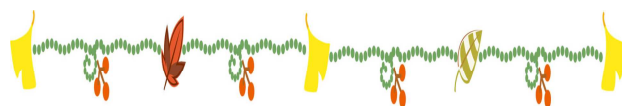
みなさんこんにちは、龍郷町事務職員会です。

私たちが勤務する龍郷町は奄美大島の北部に位置し、人口は約6千人程です。国道58号線が通っていて国道沿いにはビッグIIやドラックストア等の大型店舗が、海沿いにはリゾートホテルが立ち並んでいます。また、国の重要無形民俗文化財に指定されている秋名集落のアラセツ行事(ショチョガマ・平瀬マンカイ)や種おろし等の伝統行事も受け継がれており、現代の発展と昔の文化を肌で感じる事ができる町です。

さて、本会のメンバーは、小学校6校、中学校2校、小中併設校1校の9校に8名の事務職員が配置されて

います。共同実施は平成25年10月1日より導入され、今年度で4年目を迎えました。原則、毎週水曜日に拠点校である龍南中学校で開催しています。業務としては定例業務である毎月の実績手当や旅費請求書の点検確認、学期3回発行している広報誌「ひりゅう」の検討や支援室HPの運用、職員向けリーフレットの見直し・作成等を「龍郷町学校事務支援室第1次計画(平成25年から30年度)」に沿って、様々な業務を行っています。支援室の雰囲気はとても良く、室長を中心にまとまりがあり、いつも活気と笑顔にあふれています。

最後になりますが、私自身、昼休みや少年団活動で子どもたちと関わる中で、この子どもたちの為に、もっとより良い環境で遊ばせてあげたい、勉強させてあげたいと思っています。1人では難しかったり、実現できないことも支援室という組織の力を活用することで可能になることも沢山あるのではないかと思います。これからも支援室での業務を学校で活かし、子どもたちの為にがんばろうと思えます。



### 頑張ってます

#### 龍郷町立龍瀬小学校 瀬戸口 マキ

二学期のスタートと同時に始まった運動会練習。暑い中毎日続く練習。「運動会が早く終わればいい」と子ども達の素直な声を聞き、今の子ども達の置かれた環境を思う毎日でした。運動会が成功のうちに終わった喜びもつかの間、学習発表会に向け、動き出しました。頑張れーと職員室の隅っこから応援しています。

保護者の立場から一転、「先生」と呼ばれることにまだ違和感を感じ、職員室での話題に我が身を振り返り、てげてげ子育てだったなあ…と反省の毎日です。

十数年振りの学校現場、支援室の存在がどれだけ助けになっているか、町内の先生方に感謝です。これからもよろしくお願いいたします。

数秒前の記憶も曖昧になる危うい脳と共存しながら日々の仕事を丁寧&正確に処理していけるよう精進します(相撲取りの口上みたいですね)。

4月に話をした老眼は奇跡的に回復?遠近両用は避けられました。携帯の画面は「外せば見える」、これを老眼と言うんだと突っ込まないでくださいね。



## 本年度新規採用者の声



龍郷町立大勝小学校 岩川 理

4月に新規採用され、大勝小学校に着任してからあっという間に半年が経ちました。当初は、学生から社会人となり、学校現場について全く理解しておらず、聞いたこともない用語や書類の数々に不安な毎日を過ごしていました。そんな時、不安そうな顔をしているのを見て校長先生、教頭先生をはじめ大勝小の先生方、支援室の先生方、周囲の方々が優しく指導してくださいました。多くの方々の支えがあり、私は今、1人の学校事務職員として存在することができています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、何より子どもたちの笑顔に元気をもらっています。休み時間になると事務室の前には、たくさん子どもたちが遊びに来てくれます。その姿に毎日癒やされています。これからも「子どもたちのために」をモットーに学校事務職員として頑張っていきたいと思えます。

そして、今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れず、恩返しの意味も込めて、業務内容を1日でも早く覚え、一人前の立派な学校事務職員となれるよう日々、努力していこうと思えます。これからもよろしくお祈りします。



### ④ 奄美笠利ブロック

奄美市立笠利中学校 山田 智子

こんにちは。笠利地区事務支援室です。今年度は次の3つの業務に力を入れています。

#### ①実績・旅費点検

月2回ある支援室業務のうち、1回は実績点検、もう1回は旅費点検を行っています。各学校から書類を持ち寄り、お互いに厳しくチェックをします。時には思わぬミスを発見することもあり、過年度処理防止に繋がっています。

#### ②相互自主点検

各学校(10校)を年1回ずつ訪問し、給与・手当・勤務・旅費等担当に分かれ点検を行っています。その際笠利地区独自の点検票を使用していますが、実態に即し使いやすいものになるよう現在検討中です。

#### ③新採支援

今年度笠利支援室は新規採用者1名を迎えました。初めての業務に安心して取り組めるように、支援室の時間には毎回新採支援の枠を設け、業務に関する疑問を一緒に考え解決するようにしています。

上記の他、認定事務や広報誌「シャリンバイ」の作成など毎回時間いっぱい業務を行い、終わる頃にはみんなぐったりしていますが、和気あいあいとした雰囲気の中で過ごす時間はとても充実しています。

年代、経験年数ともに幅広い支援室ですが、何でも質問、相談しやすいファミリーのような関係を今後も大切にしていきたいと思えます。

ところで皆さんは「四角豆」ってご存じですか。断面が四角で角には翼のようなヒダがついています。室長が丹精込めて栽培した四角豆がとても美味しくて、笠利支援室で密かなブームとなっています(・∀・)



(管外研修にて。長島西・東地区支援室の皆さんと。)

## 初めての学校事務

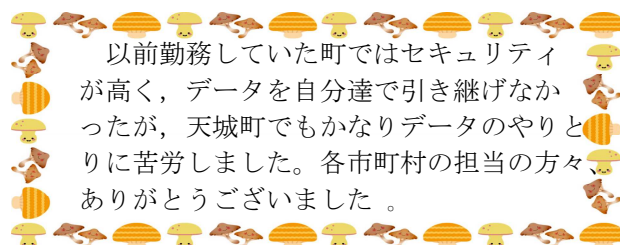


奄美市立赤木名中学校 手島 絵里香

皆さんこんにちは。4月20日付で期限付採用されました赤木名中学校の手島絵里香です。私自身学校事務は初めての職種です。出勤初日。飛び交っている言葉の意味が全く分からず「自分は何が分からないのか分かりません。」との言葉に、同じ笠利地区学校事務支援室の先生が「全然わからないでしょ？大丈夫。みんな手島さんが初めての学校事務ってことは知っていて、支援体制を整えているところだから。とりあえず、一週間乗り切ろう！」と力強く言ってくれました。次の日もIP電話の使い方から、こういう事例はマニュアルのここを見たら良いとか、笠利地区の先生方が入れ替わりで手取り足取り教えてくれました。1週間、2週間目には、書類がどのファイルに綴じてあるか見当がつくようになりました。

また支援室でも、新採支援の時間が設定され、困っていることや悩んでいること等丁寧なサポートのおかげで解決でき、徐々に市費事務や旅費請求も出来るようになってきました。

採用後半年近く経ちましたが、まだまだIP電話で教えていただく毎日です。これからも支援室の先生方に支えていただき、仕事と家庭の両立を図りながら、学校や生徒のことも考えた学校事務ができるよう頑張っていきたいと思えます。



以前勤務していた町ではセキュリティが高く、データを自分達で引き継げなかったが、天城町でもかなりデータのやり取りに苦労しました。各市町村の担当の方々、ありがとうございました。